

様式3 【物・文化財・風景など実体のあるもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (可 否)

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 加工(木工品)	(ふりがな) かこう(もっこうひん)	
地域独特の呼び方			
タイトル	はんぞう		
伝承地域	檜枝岐村		
由来 (年代)	(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか) 不明		
内容	(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども)  檜枝岐村では、林産物加工品として「はんぞう」が作られている。 「はんぞう」はトチノキを材料としており、木目の詰まったものは水を吸わないことから、ソバをこねるときにはなくてはならない道具として使用されている。 夏に伐採したトチノキを水に沈めて保管して秋に製材し、冬の仕事として加工が行われてきた。 現在は、村内からのトチノキの入手が困難になっている。		
大きさ・材質	(大きさ：緑の文化財、巨木、建造物などスケールが情報として有用なもの。)	(材質)	
見頃	(緑の文化財、巨木など特定の時期に見頃が訪れるもの。)		
交通アクセス			
文化財等の指定状況			
問い合わせ先	檜枝岐村教育委員会	電話 0241-54-5333	

キーワード

「はんぞう」は、そば粉などの食糧の貯蔵用の鉢として利用されていたとも言われている。掘りの深いものを作るためには、材料の板取りも厚くなり、年輪を重ねた大径のトチの木が必要であった。



はんぞう (完成品)



材料のトチの木の丸太  
(厚い板取りには大径の丸太が必要となる)



墨付け  
(板取した盤に墨付けをする)



外側荒削り  
(オノで外側から削る)



内側荒掘り  
(外側を仕上げしてから内側を掘る)



仕上げ掘り  
(テブリと呼ばれる手斧で底に向けて規則正しく削り込む)



仕上げ  
(サンドペーパーをあてて仕上げる)

(桜枝岐村教育委員会)